

大阪成蹊大学 2018年度卒業生アンケートの実施結果について

1. 卒業時アンケートの実施について

(1) 目的

4年間の学びを振り返り、以下の内容について検証し、教育内容の更なる充実に活かす。

- ① 本学での学びを通じた、卒業生の学修成果に係る自己評価の検証
- ② 本学での学びを通じた、教育内容・支援体制への満足度及び成長実感等の検証

(2) アンケートの設計と効果

【アンケートの項目】

- ① ディプロマ・ポリシー到達度に関する意識評価
- ② 教育内容・支援体制に関する総合的な満足度・成長実感等
- ③ 所属情報（学科名、氏名、学籍番号）



【実施の効果】

- ① 卒業生の学修成果に関する自己評価の可視化
- ② 教育内容・学生支援体制検証のための満足度の可視化
- ③ 広報材料への活用

(3) 実施の概要

① 対象者 : 大阪成蹊大学卒業認定者 2019年3月卒業生 400名 (マネジメント学部161名 芸術学部128名 教育学部111名)

【回収率】 大学合計 **96.0%** (マネジメント学部93.8% 芸術学部98.4% 教育学部96.4%)

② 実施日 : 平成31年3月21日

③ 実施方法 : 卒業式修了後、学科・コースごとに担当教員からアンケート趣旨を説明の上、記名式アンケート用紙への直接記入及びその場での回収

2. 卒業生アンケート『成長実感・満足度』等アンケート結果 【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

設問		大学全体 (383人 回答率96.0%)				マネジメント学部 (151人 回収率93.8%)				教育学部 (107人 回収率96.4%)								芸術学部 (126人 回収率98.4%)																						
										初等教育コース				幼児教育コース																										
		4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1																			
1) 成長実感度 本学での学びとおして、あなた自身の成長を実感することができましたか？	人数	105	255	20	3	38	102	9	2	24	30	2	0	11	38	2	0	33	85	7	1																			
	割合	27.4	66.6	5.2	0.8	25.2	67.5	6.0	1.3	42.9	53.6	3.6	0.0	21.6	74.5	3.9	0.0	26.2	67.5	5.6	0.8																			
	満足度	94.0%				6.0%				92.7%				7.3%				96.4%				3.6%				96.1%				3.9%				93.7%				6.3%		
2) 教育満足度 本学の教育方針や教育内容は、満足できるものでしたか？	人数	81	250	47	5	36	91	20	4	24	31	1	0	7	36	8	0	15	92	18	1																			
	割合	21.1	65.3	12.3	1.3	23.8	60.3	13.2	2.6	42.9	55.4	1.8	0.0	13.7	70.6	15.7	0.0	11.9	73.0	14.3	0.8																			
	満足度	86.4%				13.6%				84.1%				15.9%				98.2%				1.8%				84.3%				15.7%				84.9%				15.1%		
3) 人生への役立ち度 これからの人生において役立つことを、本学で学べましたか？	人数	120	232	27	3	50	84	14	3	28	28	0	0	11	38	2	0	32	82	11	0																			
	割合	31.4	60.7	7.1	0.8	33.1	55.6	9.3	2.0	50.0	50.0	0.0	0.0	21.6	74.5	3.9	0.0	25.6	65.6	8.8	0.0																			
	満足度	92.1%				7.9%				88.7%				11.3%				100%				0%				96.1%				3.9%				91.2%				8.8%		
4) 学修サポート満足度 本学での学修において、教員・職員からの指導やサポートは満足できるものでしたか？	人数	134	210	33	5	55	79	15	2	34	21	1	0	14	33	4	0	32	77	13	3																			
	割合	35.1	55.0	8.6	1.3	36.4	52.3	9.9	1.3	60.7	37.5	1.8	0.0	27.5	64.7	7.8	0.0	25.6	61.6	10.4	2.4																			
	満足度	90.1%				9.9%				88.7%				11.3%				98.2%				1.8%				92.2%				7.8%				87.2%				12.8%		
5) 進路・就職サポート満足度 就職や卒業後の進路選択において、本学のサポート体制は満足できるものでしたか？	人数	117	207	53	6	47	80	20	4	29	25	2	0	10	36	5	0	32	66	26	2																			
	割合	30.5	54.0	13.8	1.6	31.1	53.0	13.2	2.6	51.8	44.6	3.6	0.0	19.6	70.6	9.8	0.0	25.4	52.4	20.6	1.6																			
	満足度	84.6%				15.4%				84.1%				15.9%				96.4%				3.6%				90.2%				9.8%				77.8%				22.2%		
6) 入学満足度 本学に入学して、良かったと思えますか？	人数	128	228	24	3	55	81	13	2	29	26	1	0	14	34	3	0	31	87	7	1																			
	割合	33.4	59.5	6.3	0.8	36.4	53.6	8.6	1.3	51.8	46.4	1.8	0.0	27.5	66.7	5.9	0.0	24.6	69.0	5.6	0.8																			
	満足度	93.0%				7.0%				90.1%				9.9%				98.2%				1.8%				94.1%				5.9%				93.7%				6.3%		

【アンケート結果より】

- ① 6設問中、4設問において、大学全体平均が90%超の高い実感・満足度であった。
(問1「成長実感度」・設問3「人生への役立ち度」・設問4「学修サポート満足度」・設問6「入学満足度」)
- ② 設問1「成長実感度」・設問6「入学満足度」について、全ての学部において90%超の高い実感・満足度であった。
- ③ 教育学部初等教育コースにおいては、6項目全ての設問が96%超の高い実感・満足度であり、「1.まったくそう思わない」の回答は皆無であった。
- ④ 設問3「人生への役立ち度」、設問6「入学満足度」について、卒業生の3人に1人が「4.とてもそう思う」と、高い評価を示した。

3. 卒業生アンケート『学科ディプロマポリシー到達度の意識アンケート』結果

【質問】 学科のディプロマ・ポリシー（卒業時に身につけているべき力）について 本学での学びをとおして、以下の能力が身についたと思いますか。

【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

(1) マネジメント学部

学科DP		回答数・DP到達度意識				平均点 (4点満点)	
設問	能力	回答数	4	3	2	1	
確かな専門性	1 企業や組織で、「人、モノ、カネ、情報」を効率的に使う方法や考え方がわかった。	151	135 89.4%	16 10.6%			3.15
	2 企業や組織で求められる知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を持っていると思う。	151	118 78.1%	33 21.9%			2.98
	3 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	151	126 83.4%	25 16.6%			3.04
	4 顧客のニーズに応じたサービスを提供、改善できる。	151	126 83.4%	25 16.6%			3.08
社会で実践する力	5 課題を解決するための手順をわかっている。	151	131 86.8%	20 13.2%			3.11
	6 課題解決のための対策を考え、説明できる。	151	132 87.4%	19 12.6%			3.07
	7 課題解決に、積極的にかかわることができる。	151	126 83.4%	25 16.6%			3.11
	8 課題解決のため、あきらめずに取り組むことができる。	151	137 90.7%	14 9.3%			3.22
協働できる素養	9 人の意見を聞いて、自分の意見との共通点や相違点を理解して話をまとめることができる。	151	135 89.4%	16 10.6%			3.21
	10 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	151	138 91.4%	13 8.6%			3.20
忠恕の心	11 社会のなかで、自分のためだけでなく、他の人の幸福を考えて行動できる。	151	139 92.1%	12 7.9%			3.27

(2) 芸術学部

【回答選択肢】

4 : とてもそう思う

3 : そう思う

2 : あまりそう思わない

1 : まったくそう思わない

		学科DP	回答数・DP到達度意識				平均点 (4点満点)	
設問	能力	回答数	4	3	2	1		
確かな専門性	1	芸術・デザインに関する歴史的・理論的な学修に基づいた専門的な知識と理解を有し、これを有効に活用することができる。	125	114 91.2%	11 8.8%	3.18		3.00
	2	描画力、色彩計画、素材知識、構成力、構想力、コンピュータスキルを有し、これを有効に活用することができる	124	112 90.3%	12 9.7%	3.23		
	3	独創性のある新しい造形表現ができる。(表現力)	125	102 81.6%	23 18.4%	3.07		
	4	実践において専門的スキルが発揮できる。(技術力)	125	105 84.0%	20 16.0%	3.06		
	5	様々な知識や技能をいかして作品にまとめられる。(構成力)	125	106 84.8%	19 15.2%	3.02		
	6	作品や企画を社会に対して効果的に発信できる。(プレゼンテーション能力)	125	91 72.8%	34 27.2%	2.86		
	7	論理的な構成の文章で、意図を正しく伝えることができる。(文章表現力)	125	84 67.2%	41 32.8%	2.72		
	8	聞き手の理解を確かめ、対話ができる。(伝える能力)	125	102 81.6%	23 18.4%	2.98		
	9	物事を定量的にとらえ、比較対照できる。(計算力)	125	97 77.6%	28 22.4%	2.86		
	10	自律、自立して学習できる。(学習力)	125	107 85.6%	18 14.4%	3.02		
	11	文化、社会と自然に関する一般的な知識をもち、世の中の事象を理解できる。(知識と理解)	125	103 82.4%	22 17.6%	2.98		
社会で実践する力	12	必要な情報を判断し、収集することができる。(情報収集力)	125	107 85.6%	18 14.4%	3.05		3.01
	13	収集した情報を目的に沿って整理し、その関係性や本質を明らかにできる。(分析力)	125	109 87.2%	16 12.8%	3.00		
	14	課題を解決するための道筋を考え、実践することができる。(課題解決力)	125	108 86.4%	17 13.6%	2.98		
協働できる素養	15	積極的に取り組もうとする態度を身につけた。(主体性)	125	108 86.4%	17 13.6%	3.13		3.13
	16	ニーズに基づいて計画的に行動しようとする態度を身につけた。(行動力)	125	101 80.8%	24 19.2%	2.98		
	17	自己の役割を理解し、他者とともに協働しようとする態度と倫理観を身につけた。(協働力)	125	117 93.6%	8 6.4%	3.23		
	18	効果的に意思疎通ができ、状況に即した表現ができる。(コミュニケーション能力)	125	113 90.4%	12 9.6%	3.20		
忠恕の心	19	常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。	125	110 88.0%	15 12.0%	3.19		2.98
	20	異文化理解の精神と、国際的な視野を身につけた。	125	83 66.4%	42 33.6%	2.78		

(3) 教育学部 【回答選択肢】 4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

学科DP			回答数・DP到達度意識				平均点 (4点満点)		
	設問	能力	回答数	4	3	2	1		
確かな専門性	1	教育に関する幅広い教養（社会教養・教科教養・教職教養・新しい時代の教育知識）や技能（ベーシック・リテラシーおよび専門リテラシー）が身についた。	107	99 92.5%		8 7.5%		3.29	3.30
	2	実践を省察しながら授業・保育を設計（デザイン）できる。（実践構想力）	107	95 88.8%		12 11.2%		3.21	
	3	子どもの尊厳を尊重して共感的に接しながら実践できる。（実践力）	107	102 95.3%		5 4.7%		3.42	
	4	協働的な実践の省察を通して実践を基礎づけている枠組みを発見し、新しい実践を提案できる。（実践探究力、新しい教育課題に対応するセンス）	107	100 93.5%		7 6.5%		3.29	
社会で実践する力	5	市民として、問題意識、使命感、ヴィジョンを持って、社会に貢献しようとすることができる。	107	97 90.7%		10 9.3%		3.19	3.26
	6	主体的・継続的に学びつづける生涯学習の方法と習慣を身につけた。（学び続ける習慣）	107	102 95.3%		5 4.7%		3.33	
協働できる素養	7	子ども理解を中心に、多角的な視点から他者や異質なものへの理解ができる。	107	104 91.2%		10 8.8%		3.41	3.39
	8	他者と協同して、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる。（新しい教育課題に対応するセンス）	107	105 98.1%		2 1.9%		3.36	
忠恕の心	9	常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。（共感する心）	107	105 98.1%		2 1.9%		3.45	3.45

【結果】

- ① マネジメント学部は、設問2以外の10項目で80%超の到達意識が見られ、特に「諦めない力」「協働力」「忠恕の心」は90%超の学生が修得を実感している。一方、卒業時点では、設問2「企業や組織で求められる知識・技能」に対するハードルの高さを感じる学生が多く、全体として「協働力」「忠恕の心」の修得を実感している学生が多く見られた。
- ② 芸術学部は、専門知識及び主体性・協働力・コミュニケーション能力（設問1.2.17.18）の到達を90%超の学生が実感している。一方で、プレゼン力や文章表現、計算力、異文化・国際理解への修得意識（設問6.7.9.20）に関する到達意識は80%未満となり、修得意識のばらつきが見られた。
- ③ 教育学部は、設問2以外の8項目で90%超の到達意識が見られ、他学科と比較しても全体的に修得意識の高さが顕著であった。設問2「実践構想力」については、到達意識90%未満であるが、他学科の「確かな専門性」の各平均点と比較しても到達実感の質の高さが伺える。